

新年おめでとうございます。年頭に当り、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

本会は「人間」と「環境」と「活性化」と言う3枚の札を三次元にとらえて、セミナー・懇親会に加えて分科活動を中心に、さらなる飛躍と充実の年にするよう頑張る心算ですので、皆様の積極的なご提言、ご協力をお願い申し上げます。

ご案内のように本会は略称として、英文の頭文字をとり「HEARTの会」として発足した「環境」問顔の会ですが、「人間」が主となってアクションを起こし「活性化」して解決しなければならないので、全員がお互いに交流を深め、豊かな人間関係を育てあい、人間の心とからだの健康づくりの会にもしなければと思っており、昨年暮れのセミナーでは灰田宗孝先生に「水といのち」と「老化とは」のお話を戴いたのもそのためです。

昨年のベストセラーになった「脳内革命」によると、人間は物事をプラス発想で捕えていると、構造式が麻薬のモルヒネに似た脳内モルヒネが分泌されアルファ波が出て「健康になりなさい」「成功しなさい」「人生を楽しみなさい」と言っているのだそうです。日本人はこれまで「周囲を気にしながら、己を律して生きる」という生活をしてきましたし、神社・仏閣にお祈りする時も、もっぱら神だのみでお願いばかりしていたと思います。しかしプラス発想なら「自分はこうするので宜しく見守って、援助して下さい」と言うお祈りでなければならないと気がつきます。

地球は公転し、自転を繰り返しつつ、大自然に支配されて、生命体が存在しています。従って、我われは自力で生きているだけでなく、自然に生かされているのが基礎になっています。「生きている」と「生かされている」が統合されているのが「生きる」と言うことだと気が付いたら太陽・空気・水・大地を含めた大自然に対し、純粋に感謝の気持ちが湧いてきます。すなわち、感謝と言うことは、私達を「生かしている」大自然の波動が私達の心に現れてくる姿なのです。

人間の行動は、どんな理屈をつけようとも、根本は自分自身の心に基づくものであると言えます。健康ということも「健体康心」つまり「すこやかな体」と「やすき心」で体と心は一体の物でなければなりません。

ところで地球環境問題は大量生産、大量消費、使い捨てが突出した社会を生み、たかだか200年足らずのうちに、環境破壊や資源の枯渇などで地球・生物・人間の存在にとって深刻な事態を引き起こしています。地球は人間のせいではどく傷ついております、それも自分達だけでなく、未来の人々のためにもと言う気持ちは共通し、地球環境を守ることは焦眉の急だと一致しています。

環境庁は具体的に、①オゾン層の破壊 ②地球の温暖化 ③酸性雨 ④熱帯林の減少 ⑤砂漠化⑥開発途上国の公害問題 ⑦野生生物種の減少⑧海洋汚染 ⑨有害廃棄物の越境移動、の9つの現象をとり上げていますが、資源、エネルギー問題、人口、食糧問題などから町内のゴミ問題に至るまで、歴史をかけて生じてきた総合的問題だけに範囲も広いし、多種多様な要素が絡んでいますので、何から手を付けて良いのか悩みます。

しかし、プラス発想なら、我々のやれるところは逆に山ほど在ると言えます。そうして熱意を以てこれらを進めれば、他人も喜んで力を貸してくれます。お互いに本当に关心のあることを見付けて、小さなことから、出来そうなことから実行に移し、仲間を見付けて一緒に活動しましょう。地球を救うためには、みんなの協力が必要であり、そうしてどうすれば良いかを真剣に考えるところから希望が生れてくる筈です。

本会が1月16日の分科活動の打合わせ集会を呼びかけたのもそのためです。物事をより良い方向に変えようとする人々や集団が沢山増えれば、美しい地球は必ず守れます。

本会もいよいよ発足3年目に入り、素晴らしい立派な方々にご入会戴き、会員数は約250名となり基盤は固まったと言えます。現在セミナーの講師をして戴いた先生を中心にして、ワーキング・グループで熱心な討議が行なわれています。

本年はさらに団体会員、賛助会員の増加も積極的にお願いして、一段と異業種間交流と会員間の相互啓発、相互協力の実効ある活動の充実を計り、それらの集積から、望ましい新規ビジネスの具体化に繋がる様々なことにも努力したいと考えています。

